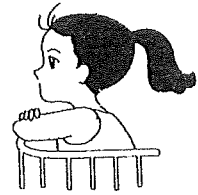


登校拒否・不登校問題

# 第23回全国のつどいin大阪 実行委員会ニュース NO.4



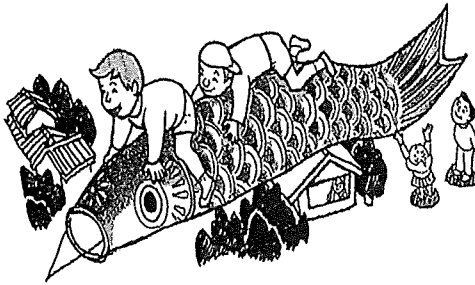
第23回全国のつどい実行委員会事務局発行 2018. 5. 22

〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町 7-11 大阪府教育会館 403 号

大阪教育文化センター 気付、tel.090-2064-4622 携帯 fax.06-6768-2527

## 新緑薫る五月、熱い議論

### 第23回全国のつどい第4回実行委員会



ゴールデンウィークあけの5月6日、埼玉、東京、千葉、滋賀、京都、奈良、和歌山、兵庫、大阪から65人の参加を得て第4回実行委員会が開かれました。

基礎講座、特別講座、分科会などについての事務局提案をめぐって活発な意見交換が行われました。

大切にしたいことが出し合われ確かめ合えるような話し合いの中でだんだんと今年全国のつどいの全体の姿が出来ていっています。

### 全国連絡会世話人代表あいさつ (高垣忠一郎さん)

23回のつどいのうち、これで4回目になる大阪でのつどいです。最初の頃から参加してくれている人もたくさんいるし、初めて参加の人もおられる。実行委員会は毎月開催でつどいごとにだいたい6~7回行って、通算100回くらい実行委員会をしてきました。実行委員会に参加した人が実行委員、という考え方です。これまで一度として同じ実行委員会はありません。メンバーは入れ替わっていきます。人はみんな違う。私に言わせれば万華鏡のようなものです。同じ人が毎回参加していても、その方も日々新しいその方になっていかれるでしょう。ずっと同じ気持ちというわけではありません。話す中味も違っていきます。

私はここに座って皆さんの思いの波動を聞いています。いろんな波がある。さざ波、優しい波、激しい波、きつい波…。それを受け止めていると、いつか心が騒ぐ時もある。中々穏やかにいられず静めないといけないこともあります。

改めて思いますが、それぞれの人がそれぞれの事情、思いをもって参加している。それを

響かせ合ってその波が重なり、全体の雰囲気を作っています。湖面の様子です。

一期一会。それをみなさんと一緒に寄せ合わせて 23 回のつどいを創っていくということをしています。おたがいにご苦労さまです。これからも波を寄せ合いながら、日本の社会が少しでも良い社会になるように手をつないでいきたいと思ひます。

福田実行委員長は今回風邪との連絡があり、残念ながら欠席でした。

7月8日につどいプレ集会として講演があります。最終ページにご案内を載せています。

## 参加者の自己紹介から

☆ニュースに中之島のバラ園がきれいと紹介されていたので寄って来ました。

☆元当事者で今大学生。卒論のテーマを「自己肯定感」にして書きました。

☆つどい当日は来れないのだけれど、実行委員会にはと思ひて来ています。

☆残念ながら当日は1日のみの参加。手が足りないところをお手伝いしたい。

☆夜行バスで往復で来ました。今後来れるかは気力と体力しだい。

☆子どもが不登校になったことで私自身が母親とのしんどさを言葉に出来るようになった。

☆自分の父から自分の人生のルールは自分で敷けばよいのだとずっと言われて育った。その父を介護して見送り、体が空いて、今日の会議に出てきました。

☆子どもが不登校になったばかりで不安だった頃当日直前に申し込んでつどいに参加し、人の話を聞いて何とかなるとホッとしたが、一年もたつとやきもき、その頃にまたつどいでみな話を聴いてそうやそうやということの繰り返し。その子も30歳になった。

☆居場所を運営している。助成金がないと立ちゆかないが、学校復帰や就労等の成果を求められる。それは居場所ではないのでは。居場所が本当に居場所であるようにと動いている。

## 第4回実行委員会で決まったこと

基礎講座を「家庭で」、「学校で」とすることと講師が承認されました。

## 話し合われたこと

### 1、基礎講座について

<事務局提案>

基礎講座は「家庭で」、「学校で」の2つの形で持ちたい。講師は「家庭で」が村上公平さん、「学校で」が馬場野成和さん（どちらもNPO法人教育相談おおさか相談員）を推薦。

<質疑応答>

☆いつもは2時間だが、今年は二日目にあるので3時間取れる。どう運営するか。

（事務局より…進行などは他の分科会と同じく担当の世話人を中心に話し合って決める）。

☆ここで大体の方向を決めておく方が講師や世話人も引き受けやすいのではないか。例え



ば東京では講演のあとグループで話し合った。また、質疑応答だけの例もある。  
☆講座の趣旨は要項案にも出されているので、具体的な進め方は講師と担当の世話人で話し合っ  
て決めていく方がいいのでは。  
運営について出された意見を出来るだけ反映させることとし、提案は承認されました。

## 2、特別講座について

### <事務局提案>

登校拒否と発達障害の2つの不安を抱える人が増えている。支援を受けるためには診断を  
と言われて悩む人も多い。

去年のつどいのまとめをみても、参加者はこのことを学びたいという気持ち、一方では親  
としての気持ちを交流したい、という思いの両方がある。交流と学習、どちらも必要。そこ  
でこの講座では「知りたい」に一定答えつつ、それで不安が増大することなく肩の荷が降り  
る、普通の基礎講座だけではできない頭の整理、安心が得られるものをもって設定した。

講師としては服部ただしさんを推薦したい。大阪の交流会で話してもらった人。元当事者  
で小学校の先生。発達障害の知識も豊富で、しかし「信じて任せて待つ」「発達障害であつても成長する」など、大きな視点で話をしてくれる。

### <参加者からの意見>

(大きく分けて、第4分科会の中でという意見☆と、講座でという意見□とが出ました)。  
☆過去のつどいでも、特別講座はあとで分科会になっていったことが多い。その重みを慎重  
に考えてほしい。

☆課題ごとに細かく場を設けるのではなく、一緒に語り合っ、違う困難、課題を抱える人  
から聞くことによって、自分の課題に向き合うことの参考、肥やしにする、そこを大事に  
してきたと思う。手短かに答えをもらおうということではなくて。

☆障害「かもしれない」という悩みも大事にすることを確認してきた。

☆第4分科会の中のミニ講座で、一緒にやっていってはどうか。

☆その先生にいてもらって分科会で安心して語り合うことはできないだろうか。

□発達障害の話をしっかりしてもらった上で分科会にという流れが良いかと思う

□広い視野で話しできるなら分科会の中に抱え込まない方がいいかと思う。

□ここ数年第4分科会では、診断、告知、服薬…等々。質問攻めになり、交流もしたいが、  
運営がしんどい。クローズアップされている割には知識がまだまだ追いついてない。

□つどいの良さは、1日半話し込みたい人はそれができるとかなと思う。

□去年第4分科会の世話人。東京では講座と分科会を平行して持ったが、子どものことを話  
したいという親は講座に行かず分科会に来ている。話したい人は分科会、聞きたい人は講  
座に、というメッセージを出してあげれば良いと思う。決めるのはその人自身。



## 3、分科会について

### <事務局提案>

意見の出ていた「テーマを設けない分科会」は設けずに12の分科会でやりたい。事務局で  
時間をかけて論議し、「悩みつつやっと来た親にとってテーマを決めるのがしんどい」、「テ

マに縛られず自由に話したい」、という2つの思いを重く受け止めて、次のように考えた。

参加しながら気持ちが整理され、共通する問題に気づいていく過程はどの分科会でも大事にしてきたと思う。分科会を丁寧に作ることを心がけてきたが、今回もさらに見直していきたい。どの分科会も名乗らず語らずともいい、出入り自由、渡り歩いてもいい。要項などで事前にも伝える。相談窓口をしっかりと置いて、受付のあり方、ひろばや書籍、ほっこりスペース、速報もふくめて、十分迷っていいと思える、初めての人がほっとできる運営をつどい全体に配慮する。テーマは縛るものではなくて、より同じ悩みを持つ人と出会える目印、話の切り口であり、気づきや学びあい生まれやすくするためのもの、ととらえている。

<参加者からの意見>

(テーマを設けない分科会、分科会選びについて)

☆「テーマを設けない分科会」は、やりたいという思いがあればやればよいのかなと思う。

☆場所など可能であれば1日目だけでも迷っている人の話し合う場所を作れたら。

☆去年受付が忙しそうだった。せかさされずにゆっくり決められるコーナーがあれば。

☆どこを選んでも正直な自分の話がたっぷりできるのがいいところ。

(第6分科会について)

☆青年期ABに分かれているが、一緒にして分散会で分けていくのもいいかと思う。

☆第7回のつどいの頃にAは10代、学校復帰も視野に入れる年代、Bは20歳以上くらいで、と分けたが、今ははっきりしなくなっている。

特別講座、分科会とも、事務局では再考して次回再提案したいということでしたが、参加者から今日話し合ったことを踏まえて事務局に一任してはどうか?という意見が出され、拍手で承認されました。



#### 4、要項について、ほか

上記の事務局提案を盛り込んだ要項案が出され、意見交換されました。  
次回再提案し、さらに意見を出していただいで確定したいと思います。

#### 分科会のふりかえり <連載第3回>

<分科会について、事務局よりお願い>

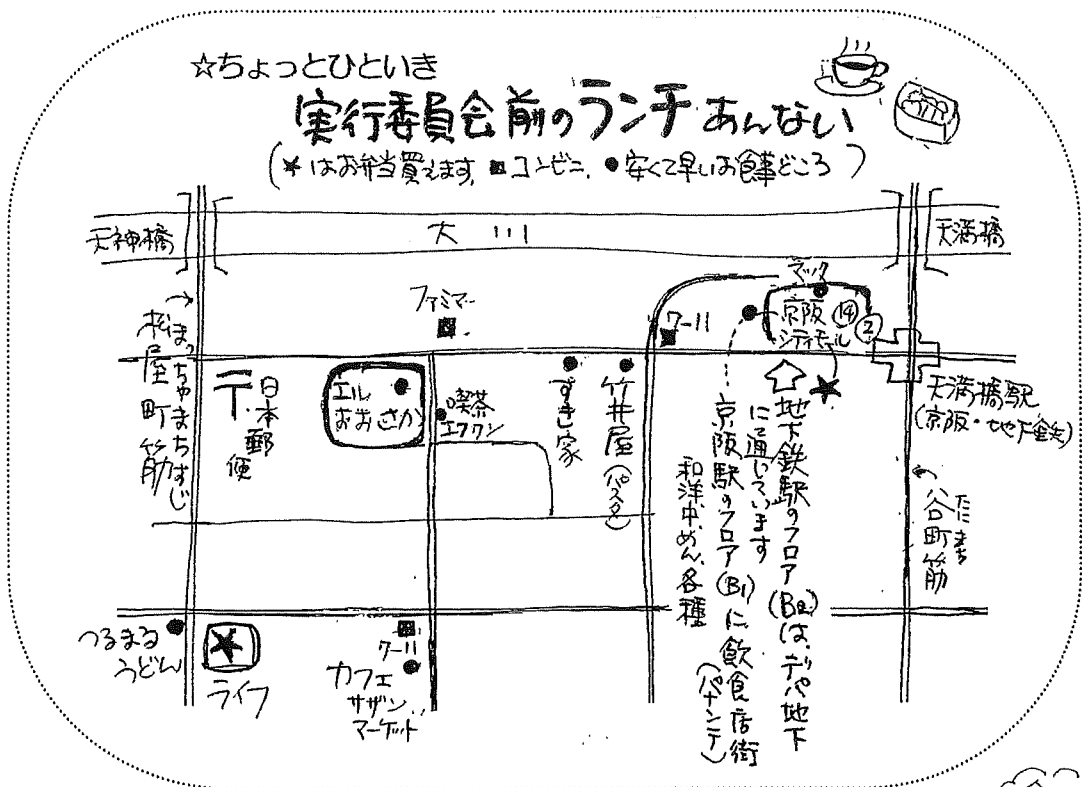
過去世話人などで関わってこられた方に、分科会で語られてきたこと、大事にしてきたこと、心掛けたり気を配ったことなどを書いてお寄せ下さい。よろしくお願いします。

#### 第11分科会 医療とのかかわり

思いや不安を出し合い経験も交流できればいいですね。子どものしあわせを願いながら親の生き方も考えていけることができればと思います。そして医学的に科学的に向き合っている機会でありたいです。(兵庫 T・K)

## 感想から

- ★しんどくて辛くてやっとの思いで参加される方の不安な思いを少しでも軽減できるように心を配りたい、丁寧な配慮を心がけたい、そんなつどいになればと思います。(兵庫・父母)
- ★活発にいろんな意見を聴くことが出来てすごく幸せを感じました。意見を言うことはあまり出来なくて聴くだけしかできませんが、これからも参加させていただきます。(大阪・父母)
- ★今回も前回も深い話が出来て、聞かせていただきました。他の会議にはないものが得られます。本当に、有難い、会議です。(　・父母)
- ★今日初めてつどいの実行委員会に参加しました。一人一人が意思を持って参加されていて感動しました。会議というより、対話が「今日この場」でなされていて、全体で共有できる一体感がすごいと思いました。(　・青年学生)
- ★意見は違っていてもめざす目標は同じと安心です。(兵庫・父母)



つどいちゃんストラップ、ほか物品販売のお知らせ。

大阪のおみやげや実用品、おやつなど、つどいの資金作りを兼ねて、事務局から販売します。ご協力よろしくお願ひします。

\*自分の大切な人の写真やペット入りストラップの作成もできます。

よかったらどうぞ!! 写真をメール([tsudoi.in.osaka2018@gmail.com](mailto:tsudoi.in.osaka2018@gmail.com))でお送り下さい。



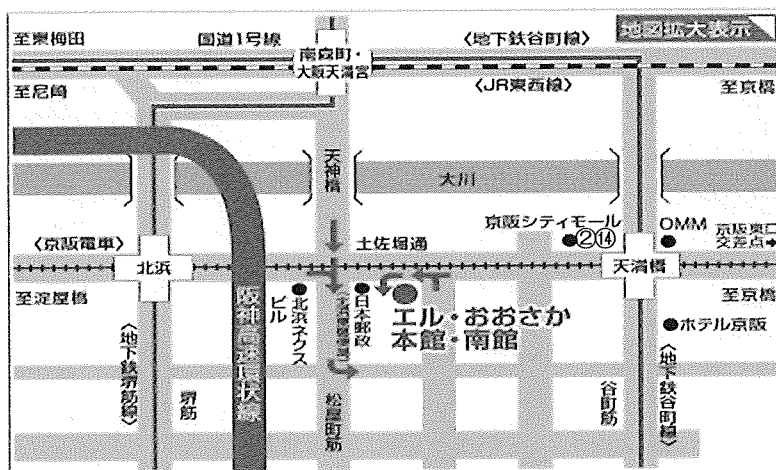
つどいのホームページは URL <http://zenkokuren.jp/tsudoi/> 全国連ホームページのトップページ「大阪のホームページはこちら」から入れます。

## 第23回全国のつどいin大阪 第5回実行委員会のご案内

下記のとおり第5回実行委員会を開催します。  
みなさまのご参加をお待ちしております。

記

日時 6月3日(日) 13:00～17:00  
場所 エル・おおさか(大阪府立労働センター) 606号室  
内容 要項、分科会について、など



天満橋駅②番(14番)出口を出て右へ

●京阪・地下鉄谷町線「天満橋」駅より西300m ●京阪・地下鉄堺筋線「北浜」駅より東500m  
★車の方は、阪神高速東大阪線、法円坂出口を左折して直進、京阪東口交差点を左折して西へ信号5つ目 ★新幹線でお越しの方はその乗車券でもう一駅、JR大阪駅下車、地下鉄谷町線東梅田駅へ移動、二駅目が「天満橋」駅になります。

### 今後の日程

| 実行委員会 | 日にち     | 時間      | 場所                        |
|-------|---------|---------|---------------------------|
| 第6回   | 7月8日(日) | 午後1時～5時 | エルおおさか 709                |
| 第7回   | 8月5日(日) | 午後1時～5時 | 大阪府教育会館 コスモス<br>(たかつガーデン) |

### ♪つどいのし集会を行います♪

とき 2018年7月8日(日) 受付:午前9時30分～  
講演:午前10時～

ところ エルおおさか 709

内容 実行委員長 福田敦志さんの講演  
『「不寛容」な社会・学校と子どもたち』

♪ぜひ、ご参加ください♪